

Int J Clin Oncol. 123(11):2480-2486, 2008 Dec 1.	EGFR genetic heterogeneity of nonsmall cell lung cancers contributing to acquired gefitinib resistance.	早川 和重	放射線科
臨床放射線, 53(9):1127-1131, 2008.	局所進行子宮頸癌に対する nedaplatin 同時併用放射線療法 の第 II 相試験 (KGROG0501) : 初期 15 例解析結果.	早川 和重	放射線科
頭頸部癌, 34(3):352-354, 2008.	T2N0 声門癌に対する化学放射線療法 の意義.	早川 和重	放射線科
Anticancer Res. 28(6B):3929-3931, 2008 Nov-Dec.	Value of high-dose radiation therapy for isolated osseous metastasis in breast cancer in terms of oligo-recurrence.	早川 和重	放射線科
Int J Clin Oncol. 14(1):53-55, 2009 Feb; Epub 2009 Feb 20.	Interactive-plan technique conquers the disadvantages of volume-reducing hormone therapy in (125)I permanent implantation for localized prostate cancer.	早川 和重	放射線科
Kitasato Med J, 39(1):13-17, 2009.	Asymmetrical position of the fornices with reference to mamillary bodies: magnetic resonance image observation.	早川 和重	放射線科

(放射線科 6 件)

(放射線科合計 17 件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること (当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Kitasato Medical Journal	Possibility of the participation of foreign antigenic structure with aberrantly glycosylated IgA1 to the onset of IgA nephropathy and Henoch-Schönlein purpura	伊藤昭彦	耳鼻咽喉科
J Laryngol Otol.	Laryngeal chondritis induced by C3-4 osteophyte following supracricoid laryngectomy with cricohyoidoepiglottopexy	清野由輩	耳鼻咽喉科
International Tinnitus Journal	Atherosclerotic change as the background with peripheral vestibular disorders	和田昌興	耳鼻咽喉科
北里医学	頭頸部悪性腫瘍における Multidetector-row CT の有用性.	中山明仁	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会誌	気道をほぼ閉塞していた幼児喉頭玩具異物の1例	猪 健志	耳鼻咽喉科
Audiology Japan	補聴器適合の過程.	岡本牧人	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会誌	声帯ポリープに混在した声帯嚢胞の1症例.	落合 敦	耳鼻咽喉科
Audiology Japan	中等度難聴の早期診断、早期療育における新生児聴覚スクリーニング検査の有用性	井上理絵	耳鼻咽喉科
Gastroenterological Endoscopy	頭頸部領域における内視鏡観察のコツ.	堅田親利	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会誌	気道・食道異物の診断と治療 気道・食道異物の診断と治療 耳鼻咽喉科医の立場から	正来 隆	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症誌	急性中耳炎診療に対する耳鼻咽喉科医・小児科医の意識調査-相模原エリアでのアンケート結果から	鈴木立俊	耳鼻咽喉科

(耳鼻咽喉科 11件)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diseases of the Colon & Rectum	Tumor Budding as an Index to Identify High-Risk Patients with Stage II Colon Cancer	Takatoshi Nakamura	外科
Anticancer Research	Lymph Node Metastasis Density (ND)-factor Association with Malignant Degree and ND40 as "Non-curative" in Gastric Cancer	Keishi Yamashita	外科
Pharmacother	Treatment of advanced or recurrent colorectal cancer with irinotecan in Japan and elsewhere	Takeo Sato	外科
Anticancer Research	Diminishing Impact of Preoperative Carcinoembryonic Antigen (CEA) in Prognosis of Dukes' C Colorectal Cancer	Hiroshi Kato	外科
Jpn J Clin Oncol	Phase II Trial to Evaluate Laparoscopic Surgery for Stage 0/1 Rectal Carcinoma	Seiichiro Yamamoto	外科
Oncology Reports	Liver metastasis of colorectal cancer by protein-tyrosine phosphatase type 4A, 3 (PRL-3) is mediated through lymph node metastasis and elevated serum tumor markers such as CEA and CA19-9	Kazuhiko Hatade	外科

(外科計 6件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World Journal of Surgery	Risk Factors for Wound Infection after Surgery for Colorectal Cancer	Takatoshi Nakamura	外科
Clinical Translational Research	A New Formula for Predicting Liver Metastasis in Patients with Colorectal Cancer: Immunohistochemical Analysis of a Large Series of 439 Surgically Resected Cases	Hiroki Ochiai	外科
World J Surg	Surgical Resection of Stage IV Colorectal Cancer and Prognosis	Hiroshi Kato	外科
Anticancer Reserach	Value of High-dose Radiation Therapy for Isolated Osseous Metastasis in Breast Cancer in Terms of Oligo-recurrence	Yuzuru Niibe	外科
Hepato-Gastroenterology	Urinary Trypsin Inhibitor Improves Viability of the Liver in Brain -- Dead Rats	Koichi Itabashi	外科
Anticancer Research	A New Diagnostic Method for Early Gastric Cancer: Volume Measurement by 3-Dimensional Endoscopic Ultrasonography in Early Gastric Cancer and Its Clinical Significance	Nobue Futawatari	外科

(外科計 6件)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepato-Gastroenterology	Strong Association of Lymph Node Metastasis with Intraperitoneal Free Cancer Cell (IFCC) in Advanced Gastric Cancer	Keishi Yamashita	外科
日本内視鏡外科学会雑誌	本邦における直腸癌に対する腹腔鏡下手術の現況－腹腔鏡下大腸切除研究会多施設共同研究－	中村隆俊	外科
大腸がん改訂3版	6. 大腸がんの治療と成績 2) 結腸がんの手術療法	渡邊昌彦	外科
日本臨床外科学会雑誌	酢酸オクトレオチド投与が奏効しQOLが著しく改善した終末期患者の1例	内藤正規	外科
日本臨床外科学会雑誌	進行胃癌術後に補正困難な低ナトリウム血症で発症した癌性髄膜炎の3症例	内藤正規	外科
消化器癌の外科治療	炎症性腸疾患と癌	小澤平太	外科

(外科計 6件)



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床外科学会雑誌	腹腔鏡下に手術したpagetoid spreadを伴う肛門管癌の1例	小野里航	外科
日本消化器外科学会雑誌	逆流性食道炎による癒痕性狭窄に対し腹腔鏡下手術が有効であった1例	二渡信江	外科

(外科計 2件)



## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Kitasato Medical Journal	Evaluation of factors that affect near vision in pseudophakic eyes	Hiroko Kasuga	北里大学眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Three-Dimensional Imaging of Trabeculectomy Blebs Using Swept-Source Optical Coherence Tomography	Nakanishi M	北里大学眼科
眼科ケア	眼科検査よみかた入門“眼底写真撮影の結果のみかた”	永野幸一	北里大学眼科
あたらしい眼科	嚢内眼内レンズの前房中脱臼	山根史佳	北里大学眼科
眼科臨床紀要	不同視弱視の眼優位性に影響する因子の検討	伊藤美沙絵	北里大学眼科
あたらしい眼科	有水晶体眼内レンズとLASIKの比較	神谷和孝	北里大学眼科
眼科臨床紀要	遠見立体視検査におけるdefocusの影響について	中山奈々美	北里大学眼科
American Journal of Ophthalmology	Effects of antiglaucoma drugs on refractive outcomes in eyes with myopic regression after laser in situ keratomileusis	Kamiya K	北里大学眼科
眼科臨床紀要	不同視弱視の眼優位性に影響する因子の検討	庄司信行	北里大学眼科
医学のあゆみ	波長走査型光干渉断層計(SS-OCT)	庄司信行	北里大学眼科

(眼科計 10件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床眼科	急性網膜壊死	永野幸一	北里大学眼科
眼科ケア	眼科検査よみかた入門、蛍光眼底写真の結果のよみかた	永野幸一	北里大学眼科
IOL&RS	あたらしい眼内レンズ挿入器:ビスコフリー・プリセット・インジェクター	清水公也	北里大学眼科
IOL&RS	屈折矯正手術後の白内障手術	飯田嘉彦	北里大学眼科
眼科	一般講演「視力・収差」	魚里博	北里大学眼科
眼科	一般講演「視機能(2)」	清水公也	北里大学眼科
あたらしい眼科	睡眠不足による疲労時の調節機能への影響	榊田浩三	北里大学眼科
あたらしい眼科	過矯正が調節微動日内変動に及ぼす影響	中山奈々美	北里大学眼科
日本眼感染症学会誌	術後眼内炎の予防・治療に関する基礎医学的根拠のひとつとしてのPAE・PASME	坂本則敏	北里大学眼科
日本眼科学会雑誌	眼鏡, laser in situ keratomileusis, 有水晶体眼内レンズが空間周波数特性および網膜像倍率に及ぼす影響	神谷和孝	北里大学眼科

(眼科計 10件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。





雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本眼科学会雑誌	眼内レンズによるモノビジョン法の視機能と満足度評価	伊藤美沙絵	北里大学眼科
Optics Letters	Fourier domain optical coherence tomography using optical demultiplexers imaging at 60,000,000lines/s	Motoi nakanishi	北里大学眼科
Journal of Cataract & Refractive Surgery	Preloaded injector for intraocular lens implantation without the use of ophthalmic viscosurgical devices	Kimiya Shimizu	北里大学眼科
神経眼科	肥厚性硬膜炎	西元久晴	北里大学眼科
臨床眼科	動体視力における屈折矯正状態と高次波面収差の影響	川守田拓志	北里大学眼科
日本眼科学会雑誌	Laser in situ keratomileusis (LASIK)後の再近視化眼に対する抗緑内障薬が屈折に及ぼす影響	神谷和孝	北里大学眼科
臨床眼科	後房型有水晶体レンズ挿入眼における調節前後でのvaultingの変化	筒井健太	北里大学眼科
Vision 2008	Magnification ratios and working distances of "Head and Attachment Magnifiers" made by Eschenbach	Uozato H	北里大学眼科
臨床眼科	前房内硝子体脱出	永野幸一	北里大学眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Crystalline lens changes in porcine eyes with implanted phakic IOL(ICL) with a central hole	Tetsu Shirataki	北里大学眼科

(眼科計 10件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
眼科プラクティス(22.抗加齢眼科学)	モノビジョン	清水公也	北里大学眼科
IOL&RS	新しい予防法Ocular Response AnalyzerTM	神谷和孝	北里大学眼科
IOL&RS	Ocular Response Analyser TMによる円錐角膜眼の角膜生体力学特性の測定	大本文字	北里大学眼科
IOL&RS	角膜耳側切開白内障手術における術後眼内炎の発症率.	神蔵陽子	北里大学眼科
British Journal of Ophthalmology	Possible mechanism of intraoperative floppy iris syndrome: a clinicopathological study	Goseki T	北里大学眼科
Journal of Refractive Surgery	Implantable Collamer lens for hyperopia after radial keratotomy	Kazutaka Kam	北里大学眼科
American Journal of Ophthalmology	Effects of Antiglaucoma Drugs on Refractive Outcomes in Eyes with Myopic Regression after Laser In Situ Keratomileusis	Kazutaka Kam	北里大学眼科
臨床眼科	視覚障害者における視覚障害等級と生活の質(QOL)評価	柳澤美衣子	北里大学眼科
あたらしい眼科	ロービジョン患者の疾患別不自由度の特徴	柳澤美衣子	北里大学眼科
眼科臨床紀要	ステレオ眼底カメラの使用経験	金上貞夫	北里大学眼科

(眼科計 10件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
IOL&RS	コンサルテーションコーナー:回答2	神谷和孝	北里大学眼科
神経眼科	Intraoperative Floppy Iris Syndrome	後関利明	北里大学眼科
American Journal of Ophthalmology	Time Course of Accommodation After Implantable Collamer Lens Implantation	Kamiya K	北里大学眼科
Journal of Refractive Surgery	Influence of Age on Ocular Wavefront Aberration Changes with Accomodation	Yoshihiko Iida	北里大学眼科
眼科ケア	波面センサーの結果のみかた	相澤大輔	北里大学眼科
体の不思議⑩ 健康不思議発 券ニュース	涙の働きと、子どもたち目に迫る危険	後関利明	北里大学眼科
体の不思議⑩ 健康不思議発 券ニュース	目の表面に傷ができたのはなぜ?	後関利明	北里大学眼科
体の不思議⑩ 健康不思議発 券ニュース	目の乾きを防ぐために目の環境を見直しましょう	後関利明	北里大学眼科
体の不思議⑩ 健康不思議発 券ニュース	涙は目の表面を守るバリアー	後関利明	北里大学眼科
神経眼科	序論:瞳孔と2人の偉大な研究者	石川均	北里大学眼科

(眼科計 10件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
神経眼科	The Integrated Control of Arousal and Pupil Function Role of the Noradrenergic Locus Coeruleus 覚醒と瞳孔機能の統合制御, ノルアドレナリン作動性Locus Coeruleus(LC)の役割	石川均	北里大学眼科
神経眼科	Irradiance Detection by New Photoreceptors in the Mammalian Retina(Roberts J Lucas)	浅川賢	北里大学眼科
神経眼科	Clinical Implication of New Aspects of the Pupil Light Reflex Medicated by Melanopsin Containing Retinal Ganglion Cells メラノプシン含有網膜神経節細胞由来の対光反応の臨床応用 (Randy H. Kardon and Aki Kawasaki)	石川均	北里大学眼科
神経眼科	瞳孔を考慮した白内障手術—人工虹彩挿入術と瞳孔形成術—	天野理恵	北里大学眼科
神経眼科	日常視時における瞳孔径の年齢変化	張冰潔	北里大学眼科
Kitasato Medical Journal	Differences of summation across locations and conditions for the development of local binocular visual field summation	Yayoi Yamakawa	北里大学眼科
眼科9月臨時増刊号「眼疾患アトラス」	眼内レンズ偏位	山根史佳	北里大学眼科
眼科9月臨時増刊号「眼疾患アトラス」	水晶体融解緑内障	庄司信之	北里大学眼科
Ophthalmic Research	Involvement of Retinal Neurons and Pigment Epithelial Cells in a Murine Model of Sandhoff Disease	Masahiko Takano	北里大学眼科
Exp. Eye Res	Relaxing effect and mechanism of tafluprost on isolated rabbit ciliary arteries	Ishikawa,H	北里大学眼科

(眼科計 10件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Cataract & Refractive Surgery	Comparison of Collamer toric contact lens implantation and wavefront-guided laser in situ keratomileusis for high myopic astigmatism	Kazutaka Kamiya	北里大学眼科
Ocular Surgery News Japan Edition	小規模研究において、ピスコフリーIOLインジェクターシステムは良好な結果を示している	清水公也	北里大学眼科
あたらしい眼科	遠見立体視検査におけるコントラストの影響	藤村美佐子	北里大学眼科
IOL&RS	後房型Phakic IOL	相澤大輔	北里大学眼科
Journal of Refractive Surgery	Phakic Toric Implantable Collamer Lens Implantation for the Correction of High Myopic Astigmatism in Eyes With Keratoconus	Kazutaka Kamiya	北里大学眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Factors affecting corneal hysteresis in normal eyes	Kamiya K	北里大学眼科
眼科手術	後房型Phakic 眼内レンズ	清水公也	北里大学眼科
Ocular Surgery News Europe/Asia-Pacific Edition	Visco-free IOL injection system shows good results in small study	Kamiya Shimizu	北里大学眼科
IOL&RS	手術器具: Ocular Response Analyzer™	神谷和孝	北里大学眼科
LiSA	総論: 麻酔医に知ってもらいたい眼科手術のポイント	清水公也	北里大学眼科

(眼科計 10件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eye	A novel apparatus for testing binocular function using the 'CyberDome' three-dimensional hemispherical visual display system .	Tomoya Handa	北里大学眼科
自律神経	近見反応の縮瞳の役割-特に加齢に関連した機能-	原直人	北里大学眼科
眼科診療のコツと落とし穴3	緑内障の早期発見を目指した新しい視野検査	庄司信行	北里大学眼科
LiSA	麻酔科医に知ってもらいたい眼科手術のポイント	清水公也	北里大学眼科
神経眼科	飛躍するOCTテクノロジー	中西基	北里大学眼科
日本眼科学会雑誌	眼精疲労を有する若年visual display terminal (VDT)作業者に対する屈折適正矯正による調節と自覚症状の変化について	原直人	北里大学眼科
IOL&RS	特集にあたって	小松真理	北里大学眼科
IOL&RS	膨らむインフォームドコンセント	小松真理	北里大学眼科
			北里大学眼科 計8件
			北里大学眼科 合計 78件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限り）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。



## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surg Today	Diffuse malignant pleural mesothelioma: A multi-institutional clinicopathological study	伊豫田 明	呼吸器外科学
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Successful management of postoperative acute respiratory distress syndrome in a patient with lung cancer	伊豫田 明	呼吸器外科学

(呼吸器外科計 2件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Indian Pacing Electrophysiol J 8(2)102-13	Neutral endopeptidase inhibitor suppresses the early phase of atrial electrical remodeling in a canine rapid atrial pacing model.	和泉 徹	循環器内科
Circulation Journal 72(4)515-20	Rationale and Design of a Study to Examine Lower Targets for Low-Density Lipoprotein-Cholesterol and Blood Pressure in Coronary Disease Patients-The Japanese Coronary Artery Disease Study II (JCAD II)	和泉 徹	循環器内科
Journal of the American College of Cardiology 51(24)2329-35	Prognostic Utility of B-type Natriuretic Peptide Assessment in Stable Low-Risk Outpatients With Nonischemic Cardiomyopathy After Decompensated Heart Failure	和泉 徹	循環器内科
J Cardiol 52(2)79-85	Beneficial effects of Waon therapy on patients with chronic heart failure: Results of a prospective multicenter study.	和泉 徹	循環器内科
J Arrhythmia 24(3)133-40	Current status of implantable defibrillator devices in patients with left ventricular dysfunction-The first report from the online registry databa	和泉 徹	循環器内科
J Arrhythmia 24(3)141-48	Effect of nifekalant on life-threatening ventricular arrhythmias in patients with cardiopulmonary resuscitation or during the perioperative sta	和泉 徹	循環器内科
Circulation Journal 73(6)1020-27	Dose-response effects of bepridil in patients with persistent atrial fibrillation monitored with transtelephonic electrocardiograms: a multicenter, randomized, placebo-controlled, double-blind study (J-BAF Study).	和泉 徹	循環器内科



## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
北里医学	北里大学NICUにおける長期入院患者の現状	劔持学、長谷川豪、伊藤尚志、狐崎雅子、野渡正彦、石井正造	小児科
日本新生児医学会雑誌	超低出生体重児17例に施行した胸腔鏡下動脈管閉鎖術の経験：インドメタシン投与群との比較	劔持学、宮地鑑、狐崎雅子、伊藤尚志、長谷川豪、野渡正彦、石井正造	小児科
日本周産期・新生児医学会雑誌	TRH負荷試験による早産児甲状腺機能の評価	伊藤尚志、横田行史、下浜真理子、田久保憲行、大津成之、狐崎雅子、劔持学、長谷川豪、野渡正彦、松浦信夫、石井正造	小児科
日本小児救急医学会雑誌	腎・心臓弁のドナーとなった9ヶ月男児例	林初香、上田康久、福島崇義、守屋俊介、河島雅到、相馬一玄、星ゆかり、高橋恵、石井正造	小児科

(小児科計 4件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Cardiol	Warfarin therapy for giant aneurysm prevents myocardial infarction in Kawasaki disease.	Sugahara Y, <u>Ishii M</u> , Muta H, Iemura M, Matsuishi T, Kato H.	小児科
J Nephrol	Similarities between N-glycan glycoform of tonsillar IgA1 and that of aberrant IgA1 abundant in IgA nephropathy patient serum	Iwanami N, Iwase H, Takahashi N, Kato K, Itoh A, Takatani T, Makita S, Kobayashi Y, Okamoto M, Nakamura S, Hiki Y, <u>Ishii M</u> .	小児科
J Pediatr Gastroenterol Nutr	Abnormal fecal lactobacillus flora and vitamin B12 deficiency in a patient with short bowel syndrome	Hojo K, Bando Y, Itoh Y, Tkemoto N, <u>Ishii M</u> .	小児科
Pediatric Health	State-of-art basic and clinical science of Kawasaki disease	Wu MH, Nakamura Y, Burns JC, Rowley AH, Takahashi K. Newburger JW, <u>Ishii M</u> , McCrindle BW.	小児科
Pediatr Int	Secondary osteoporosis in long-term bedridden patients with cerebral palsy.	Iwasaki T, Takei K, Nakamura S, Hosoda N, Yokota Y, <u>Ishii M</u>	小児科
Japan Emerg Infect Dis.	Pediatric pneumonia death caused by community-acquired meticillin resistant staphylococcus aureus	Ito T, Iijima M, Fukushima T, Nonoyama M, <u>Ishii M</u> , Baranovich T, Otsuka T, Takano T, Yamamoto T	小児科

(小児科計 6件)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Drugs.	Prediction of the effect of capecitabine in gastric cancer by immunohistochemical staining of thymidine phosphorylase and dihydropyrimidine dehydrogenase.	小泉和三郎 他	消化器内科
Gastrointest Endosc.	Clinical outcomes of endoscopic oblique aspiration mucosectomy for superficial esophageal cancer.	田邊 聡	消化器内科
Radiother Oncol	A phase I trial of definitive chemoradiotherapy with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil (DCF-R) for advanced esophageal carcinoma: Kitasato digestive disease & oncology group trial (KDOG 0501).	樋口勝彦 他	消化器内科
Journal of Gastroentero logy	Intrahepatic distant recurrence after radiofrequency ablation for a single small hepatocellular carcinoma: risk factors and patterns.	奥脇裕介 他	消化器内科
Kitasato Med J	Roles of AT2 receptor signaling in ascites accumulation and intraperitoneal bleeding in a mouse peritoneal carcinomatosis model	中谷研斗 他	消化器内科
Jpn J Clin Oncol	A phase II study of sequential methotrexate and 5-fluorouracil chemotherapy in previously treated gastric cancer: a report from the Gastrointestinal Oncology Group of the Japan Clinical Oncology Group, JCOG 9207 trial.	小泉和三郎 他	消化器内科

(消化器内科計 6件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychiatry and Clinical Neurosciences	The relationship between patient characteristics and psychiatric day care outcomes in schizophrenic patients	山本賢司	精神神経科
PSYCHIATRY AND CLINICAL NEUROSCIENCES	No association between the ryanodine receptor 3 gene and autism in a Japanese population	山本賢司	精神神経科
PSYCHIATRIC GENETICS	Association study of the commonly recognized breakpoints in chromosome 15q11-q13 in Japanese autistic patients.	山本賢司	精神神経科
Neuropsychopharmacol	Association of the neuronal cell adhesion molecule (NRCAM) gene variants with autism.	山本賢司	精神神経科
ストレス科学	広汎性発達障害の子どもをもつ母親のソーシャルサポートの検討	山本賢司、井上勝夫	精神神経科
医療法人弘徳会 愛光病院平成19年度病院年報	Aripiprazoleへの置換後に肺動脈血栓症を併発した統合失調症の2症例	山本賢司、井上勝夫	精神神経科
American Journal of Medical Genetics PartB, Neuropsychiatric Geneticss	Association Study of 15q11-q13 Maternal Expression Domain in Japanese Autistic Patients	山本賢司	精神神経科
ストレス科学	乳癌確定診断時の心理的反応と感情抑制傾向について	山本賢司	精神神経科
北里医学	緩和ケア領域における怒りの問題とその対処	山本賢司	精神神経科
日本社会精神医学会雑誌	乳がん確定診断前後の心理反応と特性不安との関係について	山本賢司	精神神経科
Japanese Bulletin of Social Psychiatry	Trait anxiety and emotional response before and after breast cancer diagnosis	山本賢司	精神神経科
神奈川県精神医学会誌	精神科身体合併症病棟入院患者の臨床的特徴について	山本賢司	精神神経科